でこいせー！

株式会社 SHF

株式会社 SHF とお客様を結ぶ
コミュニケーションレターです。

Vol.40

2020 年 9 月発行

From SMILE HUMAN FUTURE

SHFニュース

社内大掃除！

SHFでは、毎年お盆（と年末年始）の休暇前に大掃除を実施しています。普段よく使う部屋でも、まとまった時間がないと掃除できないような箇所は結構ありますよね。そんなところをキレイにして、お盆休み明けからも気持ちよく仕事に励めるよう、普段行っている掃除では使わないような道具も用いて、全員で本格的な掃除をします。夏の暑さに加えてマスクや屋外での作業もあるので、水分補給などの熱中症対策もしています。
例年であれば大掃除のあとにバーベキューなどの楽しい社内イベントを開催しているのですが、今年はコロナ禍の影響もあり、大掃除のみ実施しました。

玄関前の花壇や
外窓の掃除も徹底♪

脚立を使って念入りに
磨いていきます！

まずは各自の机の周りを掃除します。要らなくなった書類などを整理し、必要なものがすぐに取り出せるようにしておきます。
その後はいよいよ大掃除！　事前に行われた班分けに沿って、班ごとの担当箇所を掃除していきます。自分の担当箇所を終えた人はまだ作業をしている他の班のサポートに回ります。「窓・ブラインド」担当の社員に話を聞くと、「社屋2階も含めると窓がとても多かったのですが、最終的に早めに終わった別の班のメンバーに手伝ってもらって、円滑に終えられました。」とほっとした様子で答えてくれました。
今や稼働必須となっているエアコンや、会社前の溝、玄関先の花壇、そして社用車など、いろんなものがぴっかぴか！　大掃除は大変ですが、休み明けには爽やかな再スタートを切ることができました。

SHFフォトギャラリー

倶楽部活動 社内 DIY

玄関口のカーペットを
張り替えました♪

過去のニュースレターでも紹介してきましたが、SHFには「自分たちの働く環境は自分たちで良くしていく」という考えの下で、社内で発生した問題に対して自発的に取り組む「倶楽部」がいくつかあります。今回はその中の1つ、「職場環境改善倶楽部」が行った社内DIY（Do It Yourself）活動についてご紹介します。

SHFの社内は土足厳禁で、各自が自由にスリッパなどの上履きを持参して過ごしています。
しかし、社屋ができて早30年。これだけ時間が経つといくら土足厳禁でも汚れはたまっていくものです。
なんとかクリーニングできないかと倶楽部内で様々な検討を行い試行錯誤をしてみたものの、残念ながら長年の汚れは簡単には落ちてくれませんでした。
そこで思い切って、玄関口に場所を限定してカーペットを張り替えることにしました。
といっても、玄関口だけでもそれなりの広さがあるため一筋縄ではいきません。約100枚近くあるカーペットを床の形状に合わせて型取りし、のりを塗って配置していきます。実際はもとのカーペットと同じ形状になるようにしただけですが、それでも数が多いため大変でした。

—Before—

そして地道な作業の末、ついに玄関口のカーペットの張り替えが完了！
シミや脱色などの汚れが目立っていましたが、とてもキレイになりました。カーペットの色についても濃いめの青を採用して汚れを目立ちにくくし、清潔な印象を与えてお客様を気持ちよくお迎えできるようイメージチェンジしています。

—After—

日々環境が移りゆく中、対応しなければならない課題は汚れだけではありません。SHFでは今後も倶楽部活動を通じて、課題を自らの力で発見し、解決へ導く、その姿勢を忘れないように取り組んでまいります。

開発部提供！

知ってトクする！TIPS 集

第 4 回「Excel で手軽に表集計」

慣れないうちは難しいかもしれませんが、うまく使えると効率が目に見えて変わってくる機能なので、是非マスターしてくださいね♪

今回は、表計算ソフト「Microsoft Excel」でお手軽に集計表が作成できる「ピボットテーブル（pivot table）」と呼ばれる便利機能をご紹介します！

例えば、右のようなデータ表があるとします。

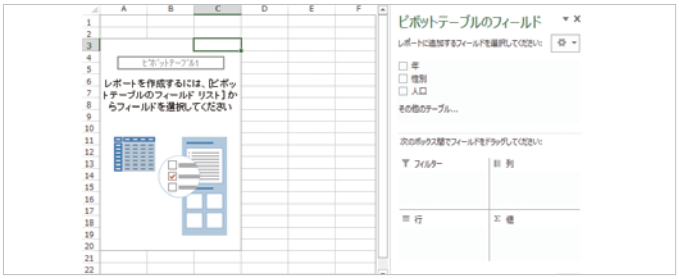
	A	B	C
1	年	性別	人口
2	2012	男	39,018
3	2014	男	38,754
4	2016	男	38,931
5	2018	男	38,474
6	2012	女	40,453
7	2014	女	39,882
8	2016	女	39,530
9	2018	女	38,917

ちなみにこれは福知山市の性別ごとの人口統計です。4 年分だけを採用した簡素なものですが、データが大きくなっても要領は同じです。

それではピボットテーブルを作ってみましょう！

まずは「タイトル行（『年』や『性別』などがある行）」が必須です。また、空行があったり、データの表現方法が統一されていないと集計できないことがあります。その場合は、置換などを使って統一してください。置換は [Ctrl]+[H] で行えます。

問題なければデータ内のセルを何か 1 つ選択し [挿入] タブにある「ピボットテーブル」をクリック。すると、対象となるデータ範囲が自動で選択されます。データの範囲とピボットテーブルの出力先を確認し、「OK」をクリックすると下記の画面が表示されます。



ここで、右側の「ピボットテーブルのフィールド」と書かれたウィンドウに注目。上にタイトル行の項目名（フィールド）が並び、下に「フィルター」「列」「行」「値」というエリアがありますね。この 4 か所に、自分の見たいデータになるよう、フィールドを入れていきます。ドラッグで直感的に入れられます。それぞれの用語の意味は次の通りです。

フィルター	データの絞り込みに使います。今回の場合、「年」を入れて「2012」を選択すると、2012年のデータだけが出力されます。
列	ここに入れたフィールドの各項目が、表の上に並びます。
行	ここに入れたフィールドの各項目が、表の左に並びます。
値	「列」「行」それぞれの要素が交差する、各セルに入る値です。

例えば、列に「性別」、行に「年」、値に「人口」を入れると、即座に下記のようなピボットテーブルが作成されます。変に関数を使う必要もなく、20 秒もあれば簡単に作ることができます！　こうすれば、性別ごとの人口比率がすぐにわかりますね。

合計 / 人口	列ラベル		
行ラベル	男	女	総計
2012	39018	40453	79471
2014	38754	39882	78636
2016	38931	39530	78461
2018	38474	38917	77391
総計	155177	158782	313959

列や行に入れるフィールドを変えるだけで別の表が瞬時に作成されますし、作成後に元のデータを変更した場合も、ピボットテーブルを右クリックして「更新」を選択するだけで反映されます。今回は簡単なデータでご紹介しましたが、総務省の統計局が提供しているような大きなデータでも、「フィルター」「列」「行」「値」を適切に選ぶだけで集計表が作成できます。「おすすめピボットテーブル」を使うと Excel が自動で判断していくつかパターンを提示してくれるので、参考にして感覚をつかむのも手かもしれません。

SHFレポート

産休・育休制度インタビュー！

SHF では、働き方改革として Vol. 38 でご紹介したテレワークなどの様々な取り組みを行っています。

SHF には、産前産後休業・育児休業制度があります。制度を実際に利用した 2 名の社員、A さん（男性）と B さん（女性）にお話を聞いてみました！

Q1. 産休・育休制度について、知っていましたか？

A1. Aさん：男性の取得率がものすごく低いですが知っていました。
Bさん：知っていました。

Q2. 休暇取得前の感想を聞かせてください。

A2. Aさん：事前に育児休業期間の仕事の引き継ぎを行ってはいましたが、実際に仕事が回るか、どうなるかは少し心配でした。

Q3. 休暇中について感想を聞かせてください。

A3. Aさん：特に産後の妻の体はしんどいと思われるので、1 カ月半でしたが育児・家事を協力して出来たと思います。
Bさん：1 年間育休を頂いたので、ゆっくりと子育てが出来ました。

Q4. 休暇取得後、復帰するにあたって不安はありましたか？

A4. Aさん：育休中に数回出社していたので、特に不安はありませんでした。
Bさん：1 年間のブランクがあったので、ちゃんと仕事が出来るか、また、子育てをしながら働くという生活リズムをちゃんと作れるか少し不安でした。

Q5. 実際に復帰したあとの感想を聞かせてください。

A5. Aさん：育休前と変わらず仕事を行うことが出来ました。
Bさん：会社の協力もあり、仕事と子育てを両立出来ています。

Q6. 本制度について感想があればお願いします。

A6. Aさん：育児休暇は今まで 2 回取得させていただきましたが、乳児という短い期間に一緒にいられる時間が長く出来るのは、とても良かったと思います。

株式会社SHF
〒620-0017京都府福知山市字猪崎小字古黒353番
発行・編集
Tel 0773-23-8117　Fax 0773-23-7730
E-mail　feedback@shfweb.com
URL　https://www.shfweb.com/

● 社内の様子等をご紹介している
SHFの Facebook
いいね！

※ 本誌についてのお問合せは左記ＦＡＸまたはメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。
※ 掲載記事・写真の無断転載を一切禁止しております。
※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。